

	Text.pm		タイプ Module				
	No.	種別	プロトタイプ	パラメータ	戻り値	説明	備考
	1	関数	bool isdigit(string c)	string c: 判別対象の文字(先頭)	数字なら True(1)、それ以外は False(0)	文字列の先頭が数字かどうか判別する。	
	2	関数	boo isalpha(string c)	string c: 判別対象の文字(先頭)	英字なら True(1)、それ以外は False(0)	文字列の先頭が英字かどうか判別する。	
	3	関数	boo isdelim(string c)	string c: 判別対象の文字(先頭)	区切り文字なら True(1)、それ以外は False(0)	文字列の先頭が区切り文字かどうか判別する。	
	4	関数	boo isprint(string c)	string c: 判別対象の文字(先頭)	表示可能文字なら True(1)、それ以外は False(0)	文字列の先頭が表示可能文字かどうか判別する。	
	5	関数	string tolower(string str)	string str: 変換対象の文字列	小文字に変換された文字列	str に英大文字が含まれていれば、それらをすべて小文字に変換する。	
	6	関数	string toupper(string str)	string str: 変換対象の文字列	大文字に変換された文字列	str に英大文字が含まれていれば、それらをすべて大文字に変換する。	
	7	関数	int len(string str)	string str: 対象の文字列	文字列の長さ	文字列の長さを返す。	
	8	関数	string append(string str, string other)	string str: 対象の文字列 string other: 結合する文字列	str に other を結合した文字列	文字列に別の文字列を結合した文字列を返す。	
	9	関数	string substring(string str, int start, int length)	string str: 対象の文字列 int start: 開始位置 int length: 長さ	部分文字列	str の位置 start から長さ length の部分文字列を返す。	
	10	関数	string left(string str, int length)	string str: 対象の文字列 int length: 長さ	部分文字列	str の左端から長さ length の部分文字列を返す。	
	11	関数	string right(string str, int length)	string str: 対象の文字列 int length: 長さ	部分文字列	str の右端から長さ length の部分文字列を返す。	
	12	関数	string times(string c, int n)	string c: 結合元の文字列 int n: 結合回数	結合文字列	c を n 回結合した文字列を返す。	
	13	関数	string format(string f, params)	string f: フォーマット params: 不定数の引数	書記化された文字列	フォーマットに従って引数を書記化する。	
	14	関数	string money(string str)	string str: 金額文字列	カンマを挿入した文字列	金額に3桁おきにカンマを挿入した文字列を返す。	
		(注意) この他、Perl の文字列処理関数や正規表現機能も利用できる。					